

広報たがのす

次は七歳で。



'92 12/1

四季の野草



▲うまのすづくさ(うまのすづくさ科)

ジャコウアゲハの食草 鷺巣町が北限と考えられる 花の咲く時期は7~9月



▼なつすいせん(ひがんばな科)

夏に葉が枯れたあとで淡紅紫の花をつける 花の咲く時期は8~9月

[佐戸岱 阿部達雄さん]

31 木	30 水	29 火	28 月	27 日	26 土	25 金	24 木	23 水	22 火	21 月	20 日	19 土	18 金	17 木	16 水	15 火	14 月	13 日	12 土	11 金	10 木	9 水	8 火	7 月	5 土	4 木	3 水	2 火	1 歳末たすけあい運動・脱スマートバイタル運動推進月間(~31日)
年越し																													

〔表紙のことば〕

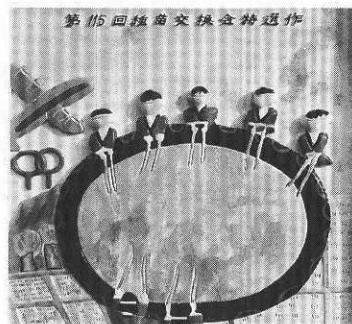


11月15日は七五三の祝。男の子
は三歳と五歳、女の子は三歳と七
歳を祝う。晩秋は自然の色彩も淡
くなる季節だが、子供たち、そし
てお母さんたちの晴れ着姿は目に
鮮やか。

ち とせあめ ひ
千歳飴地に曳きすって手離さず
有働享

人口と世帯数		10月30日現在
住民基本台帳による		
前月比		
総人口	23,558人	(4人増)
男	11,326人	(4人増)
女	12,232人	(± 0)
出生	9人	転入 39人
死亡	18人	転出 26人
世帯数 7,372世帯(11世帯増)		

- 四季の野草 2
- 高齢者ケア国際シンポジウム報告 4
- 座談会「種苗交換会を振り返って」 6
- 出川前町長が自治大臣表彰を受賞 10
- 赤い羽根共同募金の報告とお礼 11
- ゆかいななかま 12
大館北秋陸協／広報クイズほか
- まちの話題 14
向黒沢大橋が竣工／田中神明社再建ほか
- 健康広場 16
「老人保健法の医療制度とは」ほか
- 暮らしの情報 18
ハローワーク求人情報ほか
- 公民館まつりのご案内 20



こうらん
向黒沢大橋の「飾り高欄」
原画：綾子小学校5年 犀田寿子さん
▷第115回秋田県種苗交換会ポス
ターコンクール特選

「高齢者に

やさしいまちづくり」

第三回高齢者ケア国際シンポジウム

10/22 第二分科会討議報告

「ゆとりある生活環境と自立」をテーマに第三回高齢者ケア国際シンポジウムが、東京港区の新高輪プリンスホテル国際館パミールで約千人の参加者を得て行なわれました。

このシンポジウムの第二分科会には、

岩川町長が岩國島根県出雲市長、西野東京都大田区長とともに高齢者問題に積極的に取り組む首長としてパネリストに招かれ活発な討論を行なわれました。

また、会場には鷹巣町から十五人の福祉のまちづくりワーキンググループ員も参加、積極的に意見を述べました。

夢を、お年寄りには安心を――
東京都太田区は「若者には

若者に夢
お年寄りに安心
西野善雄大田区長
東京都

特別区は、福祉保健の問題も扱うようになりました。住宅についても引き続いて住みたい、永住したいという区民は九十多%以上にのぼり、住宅建設も都から移管され、地価の高騰から高層化を余儀なくされています。

また、施設として、特養ホームは八箇所、デイケアやシヨートステイのできる在宅サービスセンターの建設を考えています。

現在、区内には百五十五の老人クラブ、二万一千人のかたがたがおります。私は、「いつまでも健康で

もてる区を目指して行政を行なっています。

「調査ないところに実行なし」と言いますが、高齢者を含めた大田区内の調査をしました。心配事は何んですかという間に五十%以上の方が年金がこれから先ももらえるのか、三十%の方がいつまで健健康でいられるか、高負担の医療費に耐えられるか、相続による課税、そして寝たきりになつたとき、誰が面倒を見てくれるか不安を訴えていました。

お年寄りは、家族に囲まれていても迷惑をかけたくないと思つています。幸い、ゴールドプランが厚生省から示されました。福祉は地域が積極的に取り組んでゆかなければなりません。

区では財團法人福祉公社の設立をみました。マンパワーの活用としてボランティアの登録が五百人となっています。今後は都会のもつ矛盾を克服して、共に助け合つてゆく社会に仕組みを替えなければならぬと思います。



▲シンポジウムには、行政・社会福祉関係者が全国から参加

住民ニーズを吸収 合意形成

岩川徹 鷹巣町長

秋田県

づくりを住民と一緒に考え知惠を出し合い、常に現場からの声で進めるのが私の願いです。

本当に行政は町民に近い存中に入つてゆかなければなりません。住民ニーズに対する行政は質の高いサービスを提供しなければなりませんが、

そうした行政機構を作ることも私の責務です。

国県や色々な制度を勉強し活用してゆくことや、民間団体の協力を得ることが大事です。

最終的には、介護と介助の質と量が問題となると思います。

財源の問題がありますが、

福祉と医療をうまくドッキングさせ安心のできる福祉サ

はお年寄りなのです。

高齢者福祉にとって主人公はお年寄りなのです。

はお年寄りなのです。

サービスを提供することが、行政と一緒にやって取り組む町民参加のまちづくりです。

高齢者福祉にとって主人公はお年寄りなのです。

はお年寄りなのです。

高齢者に対する見方も基本的に変わが迫られており、六十五歳からは経験豊かな第二の青春として位置づけなければなりません。

市民のちいさなささやき、つぶやきをすぐ行政に生み出せ、これが地方行政の醍醐味だと思います。

市役所を充実させ職員の能力を引き出すこと」によって解決されます。

私は三十年間、外国で暮らしていました。ある日、電話を受け市長に立候補することになりました。華麗なる転落と言われましたが、老人会でお年寄りが、手を握り「おまえが帰ってきたのなら長生きしたい」と話されました。

このことが良い市長になると決心したきっかけでした。それは、強く優しい出雲市を目指し、都市間競争の時代にあって足腰の強い出雲市をつくることです。

の節減になりました。

これから時代は地方が東京に追いつくのではなく、市町村の試みを国県が応援してゆく時代にきています。

財政のやりくりは、「第一に国県の制度を上手に使うこと。第二に企業誘致などで税収の増をはかること。第三に市役所を充実させ職員の能力を引き出すこと」によって解決されます。

京に追いつくのではなく、市町村の試みを国県が応援して

これが教育と福祉にあります。まず、日本人のもう感性にあつた木のぬくもりを生かした建築物として、出雲ドーム・公民館を造りましたが、高齢者の利用がふえました。

また、ゴミ収集の有料化がリサイクル運動に発展し経費

田邦雄厚生省福祉計画課長がパネラーとして発言しました。

まちづくりを進めるうえで福祉の町づくりを重要な課題としました。それは、首長になる前、医療福祉に携わつていたこと。また、七十世帯の一件一件を訪問し、お話をした中で行政に対しての希望、誇り、現状に対する意見を聞き社会福祉、その中でも老後の生活についての不安が一番多くぜひ取り組みたいと思つていました。

そうした時、デンマークの福祉と自治体の進んでいる現状に驚きました。住民のニーズを把握し、開かれた行政を行なうために、福祉のまちづくり懇話会を設けましたが、その下に積極的で、自発的なワーキンググループが生まれ調査や研究活動が始められました。

また、職員のワーキンググループやボランティアもでき、町民の福祉に対する合意形成がなされてきました。良い環境の中で、やさしい福祉の町



▲第2分科会には国内の首長のほかデンマークの市長・イギリスの県社会サービス部長・厚生省課長もパネリストとして発言

私は三十年間、外国で暮らしていました。ある日、電話を受け市長に立候補することになりました。華麗なる転落と言われましたが、老人会でお年寄りが、手を握り「おまえが帰ってきたのなら長生きしたい」と話されました。

このことが良い市長になると決心したきっかけでした。それは、強く優しい出雲市を目指し、都市間競争の時代にあって足腰の強い出雲市をつくることです。

これが教育と福祉にあります。まず、日本人のもう感性にあつた木のぬくもりを生かした建築物として、出雲ドーム・公民館を造りましたが、高齢者の利用がふえました。

また、ゴミ収集の有料化がリサイクル運動に発展し経費

になりました。華麗なる転落と言われましたが、老人会でお年寄りが、手を握り「おまえが帰ってきたのなら長生きしたい」と話されました。

このことが良い市長になると決心したきっかけでした。それは、強く優しい出雲市を目指し、都市間競争の時代にあって足腰の強い出雲市をつくることです。

これが教育と福祉にあります。まず、日本人のもう感性にあつた木のぬくもりを生かした建築物として、出雲ドーム・公民館を造りましたが、高齢者の利用がふえました。

また、ゴミ収集の有料化がリサイクル運動に発展し経費

※分科会には、オーレ・アナセン・グランズサックセ市長、デビット・トウームズウースター県社会サービス部長、水田邦雄厚生省福祉計画課長がパネラーとして発言しました。

座談会

特集

交換会を振り返って



昭和四十九年以来、十八年ぶりに鷹巣町で開催された種苗交換会。皆さんはどうご覧になつたでしょうか。

今、農業は大きな変革の時期を迎え、農業の課題は地域が一体となつて取り組んで行かなければならなくなつています。広報係では直接交換会に関わった方など四人の方々にお集りいただき、「交換会を振り返って」をテーマに座談会を行いましたので、その内容をご紹介しながら、これからまちづくりを考えたいと思います。

● 藤島 商工会では、十八年前の交換会を覚えている人もほとんどおらず、数回にわたりて役員会を開き、また過去の開催地である湯沢市や五城目で情報収集を行うなどし、開催に備えました。

● 佐藤重光 私は期間中毎日各会場を見て歩きましたが、訪れる農家の方々の関心がどういうところにあるのか、興味がありました。農機具会場では、それぞれの農家が、今使っているものよりもより高価で大きなものに関心が向いています。

● 佐藤利子 私は「食べ物と女性」という観点から交換会を見ました。農協婦人部では期間中、食堂を設けましたが人手が足りず、てんてこまいの状態。農家では若い女性もいました。農機具会場

● 司会 このたび鷹巣町で行われた種苗交換会では、六万一千人の参観者数があり、また多くの町民の皆さんのご協力により、歴史に残るイベントとなりましたが、それをお立場から一言ずつ感想をお願いいたします。

● 高橋 参観者の方々の声でもたいへん評判が良かつたと聞いております。ただ、各会場への案内看板等が少なく、またバスの路線図・停留所なども少し足りなかつたよう気がいたします。

● 佐藤重光 現在、若い農業従事者は非常に少なく、五十、六十歳代がほとんどです。農業に限らず「若者の定住」が地域の発展には不可欠。そして定住のためには魅力のあるイベントを行い、若いエネルギーを発散させる場を作ることも必要です。このイベントでは北鹿十市町村の協力を得、成功させることができ、手ごたえを感じました。

手さぐりでの開幕



■藤島直治さん

●鷹巣町商工会長、大館能代空港建設促進鷹巣地区協議会長ほか要職を兼任。藤島林産㈱代表取締役社長。



■佐藤重光さん

●鷹巣町農業青年会議会長。「若者のまちづくりフェスティバル」に実行委員長として参加、成功させた。



■佐藤利子さん

●A L G（農家の主婦のグループ）会長。女性の立場で町と農業を見つめている。「若者フェスティバル」にも参加。



■高橋義文さん

●JA秋田中央会北秋田連絡事務所長。家族を秋田市に残し単身赴任。趣味は囲碁。

出席者



[司会]

●農林課長 仲谷茂明

●司会 今回は「新農政プラン」が発表されて最初の交換会です。会期中行われた各種大会・会議でも農業の基本的

若い農業従事者の育成を

●佐藤重光 看板が少ないなど不備な点もあつたわけですが、それを補おうとした行政の努力は評価されると思います。商工会も、町全体を盛り上げようとした気持ちを強く感じました。

●司会 交通指導隊をはじめボランティアの方々にはたいへんご協力をいただきまし

た。あまり知られていないと思いませんが「白鷹の会」のように会場で救護を担当しているだけのグループもあります。

●高橋 過去の交換会では、地元の市町村の職員以外はあまり参加していません。これだけの数のボランティアが参加した、というのはまず初めてでありますね。特に福祉の町ふさわしく、会場に車イスなどを準備したことは良かった

●佐藤重光 参観者の案内は統一した「ジャンバー」も好評でした。「フェスティバル」の実行委員も黄色いジャンバーをそろえましたが、お客様に目立ち、親切だった

た。あまり知られていないと思いませんが「白鷹の会」のように会場で救護を担当しているだけのグループもあります。

大きな力となつた「裏方さん」

「若者のまちづくりフェスティバル」にも参加しました

が、お金には変えられないものを得たような気がします。



▲会場への道案内も訪れる人ごとに
(駐車場で)



▲成功の陰には多くのボランティアの力が
休日には高校生も奉仕してくれた



▲人手不足で大忙しだった食堂 農家には若い女性
が少ないこともその一因



▲性能の良い大型機械に注目が集まる でも購入
には現在の経営状態をよく考えて

● 佐藤重光 たとえば大規模圃場についても、理想的ではあるが資金面などからすぐには実現できないのが現状です。行政からの助成などでバッカアップしていただきたいと思います。また畑作でも先進的な若い農家を助成によって育成してほしいものです。もう十年もすると農業従事者の平均年齢は六十歳を越えています。今から若い世代を育てる必要があります。

● 佐藤利子 「談話会」を聞きましたが、この中で「營農指導は元が取れない」という農協の現場の方の現実的な提言に关心を持ちました。しかし、農協合併を進め、營農指導員を増やして農家の指導・育成を考えてもらわないと将来が不安です。

● 藤島

空港の開港をにらみ

「フライト農業」に期待が持たれます。しかし、農産物も「加工」という付加価値をつけないと成功が望めません。そのためには生産者自身が「食べておいしい」とか、生産することを楽しむという考え方を持たなければならぬでしょう。若者の定住について

もこれからは都会的ないわば「遊び感覚」が必要です。今年行つた花火大会では一千万もの経費がかかりましたが、それで若い人が町に残つてくれるなら決して高くありません。来年も、産業祭をはじめ全てのイベントに「遊び感覚を取り入れていきたいと考えています。

● 高橋

以前は会場に説明員を配置していましたが、いつ

からか置かなくなつたようですね。今後はぜひ検討したいと思います。

また今回、小学校などから交換会について多くの質問が寄せられましたが、わかりやすい冊子などの必要性を感じています。



▲各種大会・会議では、農業の基本的問題に关心が集まつた(農業フォーラム)



▲「若者の定住」には遊び感覚が必要
(若者のまちづくりフェスティバルで)



▲ほ場整備などによる安定した農業経営には行政からの助成を(土地改良事業推進大会)



▲農産物の展示会場には説明員を置いてほしいという意見も

まちづくりには若者の感覚を

● 司会 最後になりますが、今回の交換会の成功で、みなさん自信をお持ちになつたと思います。そこで、これから活動についての熱意をお聞かせください。

● 藤島 遅くとも平成十年には空港が開港し、周辺の交通網の整備とあいまつて鷹巣町は発展を続けるでしょう。これからは空港を核として、鷹巣を県北の拠点都市にしていかなければなりません。また若者を定住させるのは「遊び」感覚。今から人材の育成にも「遊び」感覚を入れ、取り組むべきだと思います。

● 佐藤重光 「フライ特農業」も、課題は大きいが今から付加価値を考え、備えておく必要があります。そして若者の定住のために「鷹巣に行けば何かがある」というまちをつくりたい。

● 佐藤利子 「若者フェスティバル」を成功させることができ、たいへん自信がつきました。これからは、それぞれが個性的な価値観を持つたまづくりを進めていかなければ

ばならないのではないでしょか。また、特産品でも特色のあるものを開発し、売り込みを行わなければ、農業は生き残れないと思います。

● 高橋 私は鷹巣へ来て三年

ですが、来る前は太鼓ですか鷹巣を知りませんでした。鷹巣に住んで思うのは「お祭り」が多いことです。しかし必ずしも若者向けにはなっていませんね。ぜひ地区ごとの祭典でも若者に魅力のある特色を入れてはどうでしょうか。農業については現在「北秋田の農業の方向」という本を作り、他の地区に負けない農産物の生産、出荷体制などの整備の促進を指導しています。これは町内ばかりではなく、広域的な農協の協力を得、進めていきたいと考えています。



前町長 出川禮一氏が 自治大臣表彰を受賞

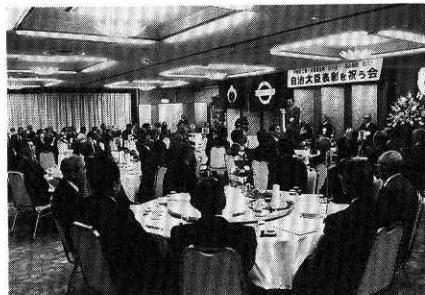
二十年以上にわたり地方自治法が施行されて今年が四十五年の節目を迎えることから、永年地方自治の発展に功績のあった市町村長（通算して在職二十年以上）を対象に、今年度から表彰を行うこととなつたものです。

今回めでたく表彰を受けられた前町長の出川禮一さんは、昭和四十二年五月、町議会議員から町長に就任以来、平成三年五月までの間六期二十四年間町長を務められました。在任中は、現役場所舎、鷹巣小学校、大太鼓の館、たかのす風土館の建設や、国道一〇五号線鷹巣バイパス、大館能代空港の実現など、町の発展のために尽力された功績は計り知れません。さらに、秋田県町会会长や秋田県道路利用者会議会長、秋田県河川治水協会副会長など、数多くの

自治大臣表彰は、地方自治法が施行されて今年が四十五年の節目を迎えることから、永年地方自治の発展に功績のあった市町村長（通算して在職二十年以上）を対象に、今年度から表彰を行うこととなつたものです。

今回めでたく表彰を受けられた前町長の出川禮一さんは、昭和四十二年五月、町議会議員から町長に就任以来、平成三年五月までの間六期二十四年間町長を務められました。

二十年以上にわたり地方自治の発展に功労があった東京千代田区の全国都市会館で行われ、全国で五五二名の市町村長、秋田県内では、前鷹巣町長出川禮一氏はじめ二四名の市町村長が表彰されました。



要職でご活躍されました。
出川前町長のほか、小林大二郎元上太阿仁村長、近藤富治郎元森吉町長、畠山義郎合川町長が同表彰を受けられ、賀会が町内のホテルで盛大に行われました。

今後とも健康に留意され、ますますご活躍されますことをご祈念いたします。

▼申込先||町民課福祉係または各保育園（申請書はいいずれにもありますので、必要な書類を添え提出して下さい）

▼募集人員（内は三歳未満児）
鷹巣保育園||90人（36）
南鷹巣保育園||120人（40）
七日市保育園||60人（12）
綴子保育園||60人（12）
中央保育園||90人（30）
東保育園||60人（11）
竜森保育園||30人（三歳以上児に限る）

▼入園通知||二月上旬に面接を行い、二月下旬までに可否を通知します。

▼詳しくは教育委員会へおたずね下さい。

保育園と町立幼稚園

平成5年4月入園の希望者を受付けています

(12月1日～12月22日)

町立幼稚園

▼詳しく述べては町民課福祉係へおたずね下さい。



赤い羽根共同募金

ひとりひとりの
優しさ・善意が

六百五十八万円



「ひとりひとりの優しさは社会の資産です」をスローガンに、十月一日から赤い羽根共同募金が行われました。

町民の皆さんがあたたかい善意とご協力により、目標額五百十七万六千円に対し、六百五十八万七千九百十三円の募金額となり、達成率は一二七・二%、対前年度比では三・九%の増加率となりました。集められた募金はいっただん県共同募金会に納入り、翌年

度民間の福祉団体、福祉施設などの申請計画に基づき有効に配分されます。皆さんの善意が、ふれあいに満ちた福祉社会を築く事業を推進し、町の福祉を高めていきます。

募金内容は次のとおりです。
 ▼ 每戸募金 三百九万一千九百一円（四、九一二件）
 ▼ 大口募金 二百七万六千円（一、三六七件）
 ▼ 法人募金 五十九万一千円（四五件）
 ▼ 職域募金 九万八千円（役場、社会福祉百二十二円）
 ▼ 街頭募金 二十六万八千円（山莊入所者二五名）

預金利子、募金一件、テレホンカード、婦人会、夕市会、母子寡婦福祉会、手話講習会受講者、青年会、手話講習会受講者、青中央小、東小、南中、J A 鷹巣町、J A 新たかのす、学校募金 一十九万五千六百四十三円（綴小、南北、鷹小、鷹巣地区労、秋北新聞社、鷹巣警察署、鷹巣郵便局、綴子ジャパン、NTT 鷹巣支店、保育園、鷹巣保育園、広域市町村圏組合、グリーンメイト

1日(日)交換会3日目。各会場とも大勢の人出で賑わいを見せた。バスの増便や、前日からの雨で通路に採石を敷くなど対応を急いだ。職員も早朝から各会場で案内やサービスに懸命。

北鹿地域は過疎と後継者不足に悩んでいるが「若者のまちづくりフェスティバル」に行政の枠を越えて1,500人が集い、盛り沢山の行事が楽しく行なわれた。

また談話会が開け、出席する。

2日(月)午前、県農業共済大会、午後、県土地改良事業推進大会が開かれ、お祝いの挨拶をする。

3日(火)朝からお天気に恵まれ、19万6千人の人出。各会場で一般高校生ボランティアも案内や車イスの介護などに大忙し。午前、農業県民健康会議が開かれ、出席し挨拶。また、学校農園展では活動発表が行なわれ、南小学校が優良、東小学校が特別、童森小学校が努力賞を受賞。

5日(木)澄みきった秋晴れの中、種苗交換会も閉会を迎える。

期間中61万2千人の方が町を訪れた。閉会式では「町の歴史に残る交換会。成果を来年につなげたい」と述べたが、町民の皆様をはじめ関係された方々に心から感謝したい。午後、お礼の挨拶に関係団体を助役と廻る。

10日(火)午後、交換会の期間中、1,788人の児童生徒に参観いただいたお礼として、町内各小中学校から代表生徒を招いて梅の木を贈った。記念として大事に育ててほしい。

11日(水)午前、坊沢老人クラブ金婚式に出席。長崎久・秀さん夫婦ら4夫婦に寿詞を贈った。

13日(金)午前、薬師山駐車場施設が完成し竣工式に出席。夜、交換会出店関係者の反省会に出席。

14日(土)スキークラブ30周年記念式典に出席。夜、町村会総会に出席。

12月1日から歳末たすけあい募金

地域で
ささえあう
明るいお正月!!





ゆかいななかま

● 結成40周年を迎え
● 記念式典を開催
大館市北秋田郡陸上
競技協会の巻

十一月二十一日、私たちの協会は、結成四十周年を迎える記念式典を行いました。

大館北秋田郡陸上競技協会（出川禮一会长）は、戦後間もなく形が作られ始めた、各町村の陸上競技会の組織を取りまとめる形で発足したものが、現在は鷹巣陸協をはじめ、八つの市町村陸上競技協会で組織化されています。

大館北秋地区は全県でも陸上競技の盛んな地域ですが、この伝統は戦前から続いています。結成四十年の歴史を振り返るとき、ボストンマラソンで優勝した大館市出身の山田敬藏さん、河田杯で知られる鷹巣町の河田康雄さん、そ

十一月二十一日、私たちの協会は、結成四十周年を迎える記念式典を行いました。

（出川禮一会长）は、戦後間もなく形が作られ始めた、

各町村の陸上競技会の組織を取りまとめる形で発足したものが、現在は鷹巣陸協をはじめ、八つの市町村陸上競技協会で組織化されています。

して戦前二度のオリンピック出場を果した小坂町出身の佐々木吉藏さん（東京オリンピック男子百メ決勝のスタートをつとめられた）の活躍を語らなければなりません。

これら名選手の活躍も、この地域の陸上競技発展に大きな刺激となり、陸協組織化へとつながっています。

また発足当時、協会を支えてくれた諸先輩も数知れません。同和鉱業陸上部の黄金時代を築き、県体協会長等を歴任された故畠沢恭一さん、初代会長の故米澤次男さんなど

陸上競技の基本である「走る」ことはすべてのスポーツの基礎になります。

私たちの活動が少しでも地域スポーツの発展に貢献できるようこれからも努力を続けて参りたいと思います。

（大館北秋陸協理事 佐藤弘之さん）

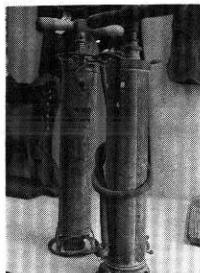
63
63—1330

▼問1 今年の赤い羽根共同募金の総額はいくらだったでしょうか。
▼問2 十一月十七日、渡り初めを行った橋の名称は？

● 12月 ■ 雪、づくし
初雪、雪遊び、雪起こし、雪折、雪下、雪女、
雪かき、雪だるま、雪用、雪見、雪焼

12月
(しゃす)
(師走)

農薬散布用の
噴霧器



農薬を霧状に噴出し、農産物などに散布する器具。かつては手押しのポンプ式だった。当時としてはたいへん高価なもので、農家が共同で購入し、持ち回りで利用しました。

〔松葉町 佐藤富雄さん〕

※11月15日号の写真は「空気入れ」となっていますが、説明が間違っていましたので正しい説明を付し、再掲いたします。

詰将棋

6	5	4	3	2	1				
						卒	王	星	兵
						銀	馬	角	車
						馬	飛	車	卒
						兵			

持駒
角金

チャレンジ

広報
タクシ

広報クイズへのご応募ありがとうございました。11月1日号の正解はごぞいました。

ごぞいました。11月1日号の正解はごぞいました。

ごぞいました。11月1日から7日まで

わやか君

西村 宗



おまかせ。
はい、手書き。
成、1三五、2三金、四玉、3三重手
(賛同正解) 4四舟、同舟、3一帆
(賛同正解) 4四舟、同舟、3一帆



▲現在、大館市と北秋田郡の8つの陸上競技協会で組織されている大館北秋陸協。全県でも最大の組織に成長している。



▲大・北陸協では駅伝チームとして全県駅伝に出場。
これまで11回優勝している。

(第40回大会優勝のメンバー)



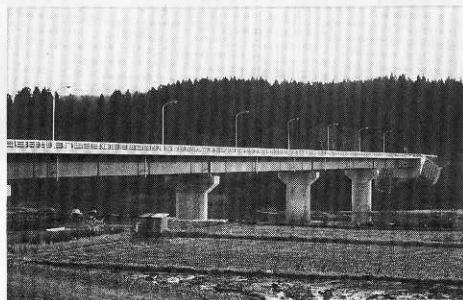
- ハガキに、問題の答えと住所・氏名・年齢・職業・小中高生は学校名と学年を書いて係まで送ってください。正解者の中から抽選で5名の方にテレホンカードを進呈します。
- 応募先 || T018-33鷹巣町花園町19-1 鷹巣町役場広報係
- 締め切り || 12月15日
- 広報係では皆さんからのお便りをお待ちしています。応募ハガキの余白でも結構ですので、ホットな話題素朴な疑問などをどしどしお寄せください。

▼問3 今年結成三十周年を迎えたのは何という団体でしょう。

【応募方法】

〔訂正とお詫び〕

11月15日号掲載の「鷹中陸上部女子チーム東北駅伝大会で優勝」の記事で、優勝メンバーに「永井わかなさん」の名前が入っていました。訂正の上、お詫びいたします。



県営綾子農免農道整備事業として昭和六十二年から工事が進められていた「向黒沢大橋」が完成し、十一月十七日工事関係者、地元住民ら二百

人が喜びの渡り初めを行いました。向黒沢は、国道七号線や糠沢を目の前に見ながら、遠く迂回しなければならない交通事情にあり、古くは渡し舟が糠沢との唯一の交通手段という時代もあり、地元の喜びはひとしおといった様子。

この日はあいにくの雨の中向黒沢の照内秀雄さん、摩当の柳谷孝一郎さんの各三世代家族を先頭に渡り初めが行われ、感激をふみじめています。照内さん、柳谷さん、そして地元の方々の頬を伝うのは雨、それとも・・・。

向黒沢開びやく以来の悲願

向黒沢大橋が完成



町内各婦人団体が一堂に集い、芸能を通して婦人の交流と親睦を深めることを目的とした婦人芸能祭が、十一月十五日、たかのす風土館で行われ、各婦人団体から二十七組の歌や踊りが披露されました。

婦人芸能祭も今年で十三回目を数え、回を重ねるごとに内容は充実。多彩に趣向を凝らした大熱演に、爆笑あり、歓声ありで会場は超満員の中終日大賑わいでした。

また、この芸能祭はチャリティも兼ねており、公演のあい間に中島喜代婦団連会長から、町社会福祉協議会と青少年健全育成町民会議にそれぞ

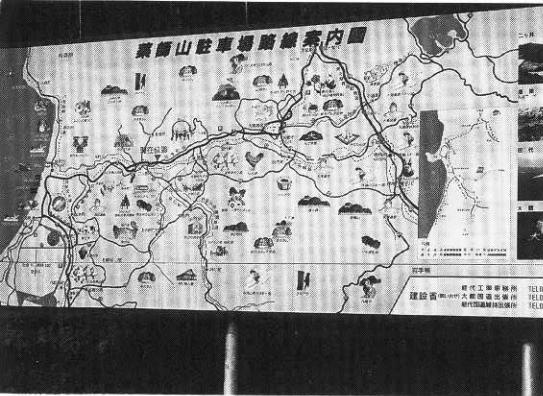


第13回婦人芸能祭(チャリティ)

婦人パワー大爆発

れ三万円が贈呈されました。

『寒さ吹き飛ばす婦人パワー』、来年も多いに期待しています。

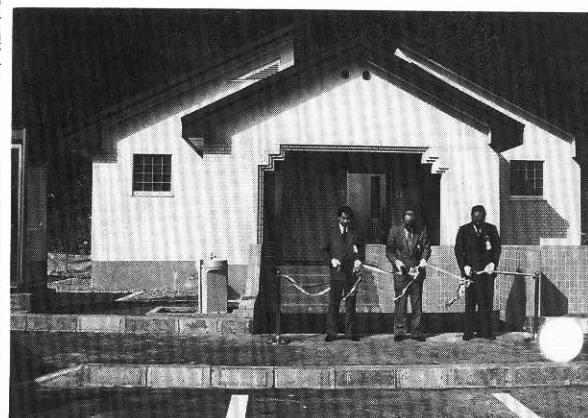


建設省と町が国道七号線今泉地内に建設を進めていた、薬師山駐車場とトイレなどが完成し、十一月十三日竣工式が行われました。

この事業は「道の駅」として、ドライバーの休息施設を適切な間隔で配置することで交通安全を図ることを目的とするもので、九十台分の駐車場、身障者も利用できるトイレ、水飲み場、ベンチ、歩道緑地帯、観光案内板などが設置されています。

駐車場、トイレ、緑地帯

今泉(薬師山)に「道の駅」が完成



鷹巣スキークラブの三十周年記念式典が、十月十四日盛大に行われ、次の節目に向け誓いを新たにしていました。同クラブは、百六十七人の会員で組織され、アルペン選手権やクロスカントリー大会の主催のほか、スキー講習会を開催するなど、技術の向上はもとよりスキーハンモックの底辺拡大に努め、これまで数多くの

同クラブでは三十周年を機に、シンボルマークを作成、新たな一步をふみ出します。

この事業は「道の駅」として、ドライバーの休息施設を適切な間隔で配置することで交通安全を図ることを目的とするもので、九十台分の駐車場、身障者も利用できるトイレ、水飲み場、ベンチ、歩道緑地帯、観光案内板などが設置されています。



鷹巣スキークラブ30周年 シンボルマークも新調

の有力選手を輩出しています。式典には約百二十人が出席、

クラブの発展に尽力のあった十四個人団体へ功労賞、栄光賞、感謝状が送られたあと、

南中の渡部稔校長が記念講演、今後ますますの発展に指針を与えていました。

わたり、アルペン選手権やクロスカントリー大会の主催のほか、スキー講習会を開催するなど、技術の向上はもとよりスキーハンモックの底辺拡大に努め、これまで数多くの

会員で組織され、アルペン選手権やクロスカントリー大会の主催のほか、スキー講習会を開催するなど、技術の向上はもとよりスキーハンモックの底辺拡大に努め、これまで数多くの

鷹中女子五度目のV

第10回秋田内陸駅伝大会

阿仁町へ鷹巣町役場間を競

やつぱり鷹中女子は強い!!

われた一般の部では、秋田L

S Dクラブが初優勝。地元期

待の鷹巣陸協は惜しくも三位

グリーンメイトジャパンは六

位となりました。

主な成績は次のとおりです。

▼女子の部 優勝=鷹巣中、

二位=森吉中、三位=秋田中

▼一般の部 優勝=秋田L S

Dクラブ、二位=大館かけつ

こクラブ、三位=鷹巣陸協、

四位=比内陸協、五位=森吉

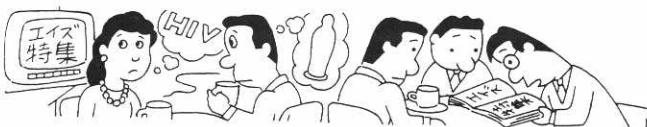
陸協、六位=グリーンメイト



鷹中は、同日程で行われている東日本縦貫駅伝大会に、秋田県代表として主力二選手を繰り出ししながらも、森吉町役場へ鷹巣町役場間、終始トツブを守り他を圧倒しました。

世界エイズデー 12月1日

1人1人がエイズに関心を持ちましょう



い。
参加希望者は、単位老人クラブの会長へ申し込みください。

健康であることに生きがいを求め、心身の健康の大切さを共に語り合い、互いに交流を深めたいと思います。
皆さんお気軽に参加してください。

高齢者

健康のつどい

▽鷹巣農林高等学校
午前9時30分～午後1時30分

▽北秋中央病院
午後2時～4時30分

○12月1日(火)
▽鷹巣農林高等学校
午前9時30分～午後1時30分

とおりです。
今月の献血車の巡回は次の

血液を待つ多くの患者さんのために、ご協力をおねがいします。

保健課からのお知らせ

健康広場



献血にご協力を

日時 12月4日(金)

9時15分～3時

場所 中央公民館ホール

▽長生き座談会・体験発表
▽講演「ふれあいは力なり」
講師・佐藤秀樹氏

県老人クラブ連合会事務

局長

▽生き生きファッショニング
ヨー

各地区1名

▽アトラクション

斎場一般公開

新しい斎場が完成しました。
12月3日に落成式を行った

後次の日程で一般公開をいた
します。

どうぞこの機会にご覧くだ
さい。

公開日 12月4日・5日

時間 午前9時～午後3時
場所 練子字作坂

業務開始は12月6日(日)
より行います。

- ◆ 70歳になると
70歳になつた翌月から老人保健法による受給者となります。受給対象者には直接本人に通知いたします。
- ◆ お医者さんにかかるとき
受給者になると「健康手

入院	外来
1日	1か月
600円	900円
平成5～6年度は 700円となります。	平成5～6年度は 1,000円となります。

老人保健に係わるお問い合わせは保健課国保係まで
電話六二一一一
内線一二一、一二三

老人保健法の医療制度とは

この制度は、70歳以上(65歳以上)のおとしよりが、医療を受けられる場合適用される制度です。

おとしよりが安心して医療がうけられ、健康な毎日を送られるように、医療費の負担を軽くすることを目的としています。

◆ 老人保健の受給対象者
老人保健法では、いづれ

かの医療保険(国民健康保険、職場の健康保険や共済組合など)の被保険者、加入者または被保養者である人が老人保健の受給対象者となります。

◆ 一部負担金は
病気やケガでお医者さん

にかかるときは、一つの医療機関(病院・医院・診療所)について、次のような一部負担金を支払うことになります。

12月の健康ごよみ

■ 7日（月）21日（月）

○母子健康手帳交付

と第一回妊婦教室

受付一午後1時から1時30分

(妊婦教室終了は3時)

場所一中央公民館健康相談室

持参一印かん

■ 8日（火）

○1歳6ヶ月・7ヶ月児健康診査

対象一平成3年4月・5月生れ

受付一午後1時～1時20分

場所一中央公民館ホール

持参一母子健康手帳、問診票、

バスタオル

○フッ素イオン導入

対象一3歳児以上

時間一1時30分～3時

持参一母子健康手帳・タオル

場所一中央公民館保健相談室

■ 9日（水）24日（木）

○健康相談と健康教育

時間一午前10時～午後3時まで

場所一中央公民館保健相談室

内容一お酒と肝臓

■ 16日（水）

○リハビリ学級

内容一健康相談・リハビリ訓練

場所一北秋中央病院

■ 21日（月）

○第3回妊婦教室

時間一午前10時～正午

場所一中央公民館健康相談室

内容一赤ちゃんの扱い方・育児の

要点、沐浴実習、母乳、断乳、家族計画等

■ 22日（火）

○4ヶ月児健康診査

対象一平成4年8月生まれ

受付一午後1時～1時15分

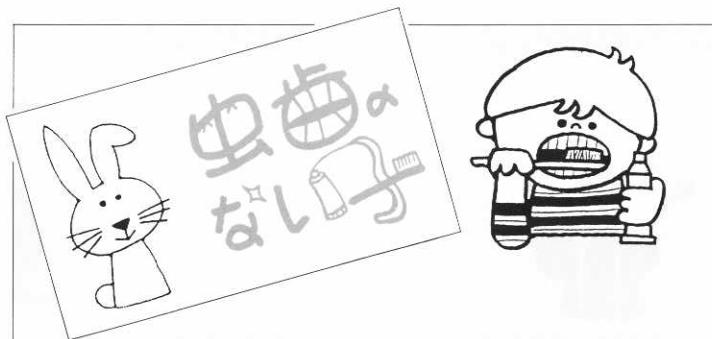
○7ヶ月児健康相談

対象一平成4年5月生まれ

受付一午前9時30分～9時45分

持参一母子健康手帳、バスタオル

※場所はいずれも中央公民館ホールです。



前野
なかじま いくみちゃん



あけぼの町
いでかわ ともあきちゃん

〔訂正とお詫び〕

11月15日号で、七日市中畑「ながきしょうごうちゃん」とあるのは「ながきしょうこうちゃん」、同じく七日市吉野「さとうひろしちゃん」とあるのは「さいとうひろしちゃん」の間違いでした。訂正の上、お詫びいたします。

夜間当番医(夜間診療)日程表

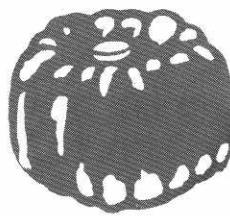
- 応急の診療を要する患者。
- 往診はしておりません。
- 仕事や職場の都合で夜間診療を受けるケースは、

※ 年齢・病気の症状にかかる
わらず当番医に電話等で
ご相談を受けてください。

12月曜日	医療機関名	電話番号
1 火	佐々木産婦人科医院	63-0105
2 水	藤原 医院	62-2882
3 木	盛岡 外科 医院	62-1101
4 金	としま 医院	62-1267
5 土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
6 日	近藤 医院	62-1155
7 月	鷹巣 病院	62-1210
8 火	北秋中央病院	62-1455
9 水	奈良 医院	62-1146
10 木	佐藤外科消化器科医院	62-1420
11 金	藤原 医院	62-2882
12 土	佐々木産婦人科医院	63-0105
13 日	盛岡 外科 医院	62-1101
14 月	としま 医院	62-1267
15 火	戸嶋産婦人科医院	62-1123

暮らしの情報

INFORMATION



行政相談日

今月は10日です。

行政についての不満や要望
がありましたら、いくら些細なことでも遠慮なく申し出てください。

▽日時 12月10日(木)

午前10時～午後3時

▽場所 中央公民館

▽行政相談委員 近藤栄一

材木町6-30

電話 621-2110

■会場 鷹巣体育館
■日時 12月13日(日)午前8時40分から
第30回町民卓球大会が開催されます。自信のある方、な
い方を問わず、お気軽にご参加ください。

工事期間は来年の3月25日までを予定していますので、皆様のご協力をお願いします。

下水道の管渠布設工事を中岱地区で行っています。工事区間は、体育館付近から米代川堤防までの間ですが、道幅が狭いために『全面通行止め』になっています。

通行止め区間のお知らせ



- 申込 12月9日(水)までに、鷹巣体育館(62-13800)かマルほかモト石油へ
- ▽一般男女、一般男子ベテラン(年齢区分による)、中高男女(中は3年生のみ)は
- ▽①団体戦(チーム)
▽個人戦(1チーム)
▽一般男女(3名で)

ハローワーク求人情報

問い合わせは

ハローワーク たかのす
(大館公共職業安定所鷹巣出張所)

TEL 0186-62-1240

【男子】

職業	年齢	基本給(万円)	資格	業種	就業場所
土木施工管理士補助	18歳～45歳	15～22	普通免許	土木施工管理の補助	阿仁町
販売員	18歳～50歳	11～14	普通免許、危険物乙2種、丙種	ガソリンスタンドでの販売及び店内配達	鷹巣町
鮮魚食料品販売員	30歳～50歳	14	普通免許	食料品の販売、配達	森吉町
商品販売・搬送	30歳以下	11～16	普通免許	2t車による商品の小売店への配達	鷹巣町
運転手	20歳～55歳	15～20	普通免許又は大型免許	原木及び食料品の運搬	鷹巣町
鉄骨加工	18歳～50歳	13～21	普通免許	鉄骨の切断、穴明け溶接見習いも可	鷹巣町
マシンオペレータ	18歳～25歳	13.2～14.5	不問	NC自動盤、多軸自動盤等の操作	合川町
自動車整備士	18歳～35歳	11～16	普通免許	自動車の整備	鷹巣町
機械修理、保守	18歳～30歳	13～18	不問	ファッショング製品の製造機械の修理保守	上小阿仁村
製材工	18歳～50歳	12～18	不問	杉丸太の製材、製品製造	鷹巣町

【女子】

職業	年齢	基本給(万円)	資格	業種	就業場所
一般事務員	20歳～30歳	10～11.5	普通免許ワープ多少	一般事務(建設業)	森吉町
経理事務員	20歳～40歳	12～15	普通免許、珠算	一般事務及び銀行等への事務(小売業)	森吉町
経理事務員	20歳～40歳	13～15	経験者	会計、諸官庁申請、税理他(運送業)	鷹巣町
レジ係及びバンタリーサービス	20歳～45歳	7.5～14	経験者優遇	割烹でのレジ係及びバティーリーサービス	鷹巣町
給油事務	18歳～35歳	9.5～10.5	普通免許	石油製品、自動車用品の販売等	合川町
組立製造要員	18歳～40歳	11.5～13	危険物免許尚可	医療用具部品の組立検査、完成品の梱包	鷹巣町
計量、包装、製造	18歳～50歳	9.84	不問	乾燥食肉の計量、袋詰、機械による包装	鷹巣町
縫製工	18歳～55歳	11.5～13.5	不問	裁断、縫製、プレス(袖・スラッシュ)	上小阿仁村
縫製工	20歳～50歳	10.25～12	縫製経験者尚可	ミシンによる縫製(バジヤマ)	鷹巣町
包装係	18歳～42歳	12.71～14.29	普通免許(あれば有利)	舞茸の収穫、計量、包装業務	鷹巣町

戸籍手数料がかわります

来年1月1日から全国一斉に戸籍手数料が次のように改正になります。

■戸籍謄本・抄本の交付
〔1通につき〕

300円⇒400円に

■戸籍謄本・抄本の交付
〔1通につき〕

500円⇒700円に

■戸籍に記載されている事項の証明〔1件につき〕

200円⇒300円に

■戸籍に記載されている事項の証明〔1件につき〕

300円⇒400円に

■届出・申請の受理の証明書〔1通につき〕

200円⇒300円に

婚姻・離婚・養子縁組または認知の届出の受理証明で上質紙を用いる場合1通につき

1,000円⇒1,300円に

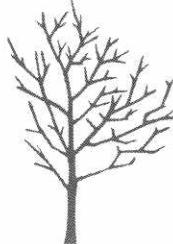
■届出・申請の不受理証明書〔1通につき〕

無料⇒無料

■届書その他市町村が受理した書類の閲覧及び証明書の請求〔書類1件につき〕

200円⇒300円に

長崎 チヨコ	佐藤 孝一	小坂 ハルエ	田川 博美	中沢 豊久	高橋 マチエ	近藤 慶治郎	佐藤 成田	宮野
(89歳)	(69歳)	(74歳)	(74歳)	(54歳)	(41歳)	(74歳)	(79歳)	
新屋敷町	松葉町	舟場町	元町	新田中	本郷	中屋敷	新田中	

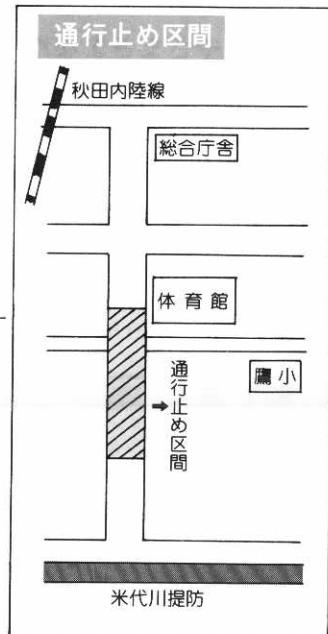


善

意

香典返し

このたび次の方から、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
ご芳志に感謝いたします。
社会福祉協議会へ寄付されました。



慶弔だより



11月1日～15日
誕生おめでとうございます

藤嶋 亮彦
長谷川 美佳
博行
二女 太田

- ▽大町＝小川雄二さんから亡父久一郎さんの香典返し
- ▽向黒沢＝山内久男さんから亡父久一郎さんの香典返し
- ▽田中＝三沢政行さんから亡夫与次郎さんの香典返し
- ▽今泉＝小笠原静江さんから父今伍郎さんの香典返し
- ▽大町＝小川雄二さんから亡父久一郎さんの香典返し
- ▽越前谷卓磨（功）伸一（正広）長男）幸町
- ▽櫻庭 協（徹）長男）大町

おくやみ申し上げます



二人の前途を
祝福いたします

（）津高吉 奈堀
谷桑田 藤良文 正
今日直 康文 子弘
子緑南 森旭 森綴子 上
ケ鷹吉 吉吉 町町町町

第10回

鷹巣町公民館まつりと

12/6(日)
9:00~17:30

生涯学習交流会

皆さんは「何かを学んでみたい」、そう思われたことはありませんか。町には公民館講座やさまざまな地域活動など多くの学習の場があります。このような学習や活動の実践例をご紹介し、皆さんにもぜひ関心を持っていただきたいと思っています。

- 日時／12月6日（日）9:00～17:30
- 会場／鷹巣町中央公民館
- 主催／鷹巣町生涯学習推進本部 鷹巣町教育委員会 鷹巣町中央公民館・各地区館
- 参加対象／どなたでもお気軽にご参加ください
- テーマ／「地域づくりと生涯学習のあり方を考える」
- 内容
 - パネルディスカッション
テーマ／『ふるさとの夢づくり』
提言者▷秋元哲郎氏（鷹巣農林高校校長）
▷篠原康夫氏（株）グリーンメイトジャパン工場長）▷近藤敏夫氏（在宅福祉サービス（株）虹の街代表）▷アンドレア・アレキサンダー（鷹巣町国際交流員）
司会者▷近藤次夫氏（町芸文協事務局長）

- 記念講演
演題／『道しるべと芸術』
講師／伊藤信直氏（彫刻家 鷹巣町出身）
- 生涯学習の紹介
発表／柳谷純子さん（『公民館ボランティアをめざして』）／工藤敏明さん（『菅江真澄の道を訪ねて』）
演示／母と子のわくわく広場・社交ダンス・たのしい英会話ほか
展示／パッチワークほか各種講座紹介

- 交流会
手づくり屋台など楽しい企画がいっぱい
- 参加費等（希望者について）
昼食／500円 交流会／1,000円
- 参加申し込み
12月3日までに、中央公民館へお申し込みください。



お気軽にご参加を！



（昨年の公民館まつりでの活動発表から）